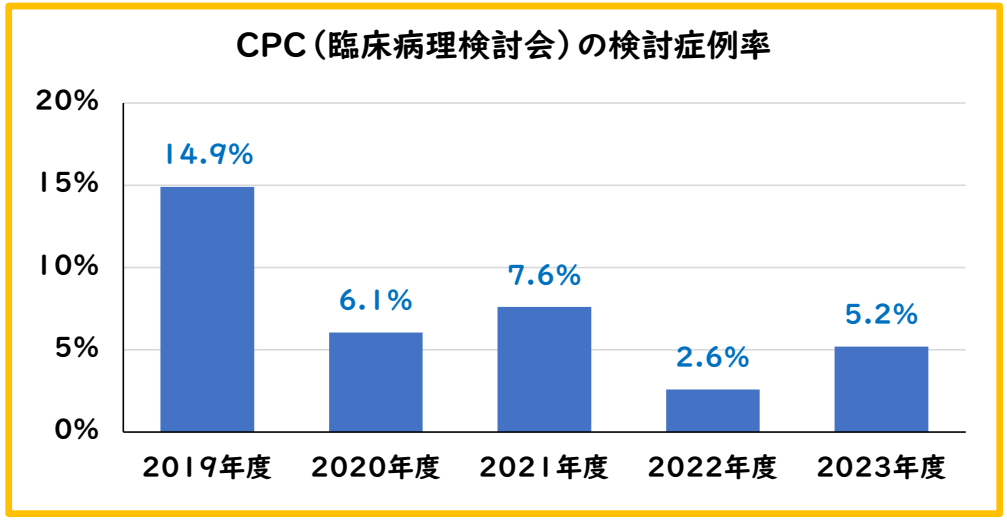
35　CPC（臨床病理検討会）の検討症例率

病理診断科・病理部

◆解説◆

CPC（臨床病理検討会）とは、臨床医・病理医などが、治療中に院内で死亡し病理解剖が行われた症例について診断や治療の妥当性を検証する症例検討会のことで、診療行為　を見直すことで得られた知見を、今後の治療に役立てるために行われます。医学生、研修生の教育にも寄与するもので、その取り組みの状況を表現する指標です。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

解剖からCPC（臨床病理検討会）までの時間短縮に努めます。

◆定義◆

院内総死亡患者数のうち対象年度1年間に行われたCPC件数の割合

◆国立大学病院病 院機能指標との比較◆　全国国立大学平均値　2020年度6.9%、2021年度5.9%、2022年度5.0%